



市野瀬橋
国土交通省四国地方整備局



証券コード：1848

株式会社富士ピー・エス

第65期

FPS REPORT

2016.4.1－2016.9.30

経営理念

私たちはプレストレスト・コンクリート技術で、
安全・安心な国家建設に貢献します

社訓

一我々は 福祉国家建設の一翼を
担って社会に奉仕しよう

一我々は 技術を究め創意をこらし
自己の責任を完遂しよう

一我々は 和信協同し企業の繁栄と
共に幸福を創り出そう



建 築

27.5%

売上
構成比

土 木

71.2%



人にあたたかい
空間づくりをめざして



第4次中期経営計画「VISION2016」がスタート



代表取締役社長
菅野 昇孝

皆様方におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当建設業界におきましては、震災復興、防災・減災対策、社会インフラ老朽化対策、2020年東京オリンピック・パラリンピックなどの建設需要により公共投資は堅調に推移するとともに、一部着工遅れがあるものの民間建設投資もマンション事業を中心に、回復基調が続いております。

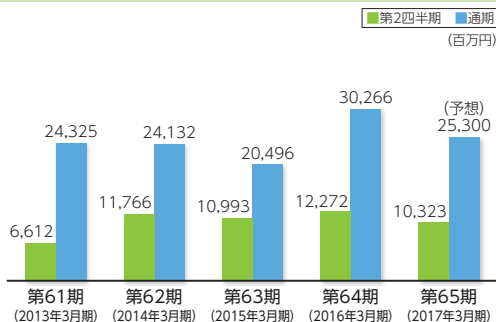
このような経営環境のもと、当社グループは長期的な市場環境の変化をとらえ、PC（プレストレスト・コンクリート）技術を核とした技術開発と事業の多様化で継続的な成長を実現するため、第4次中期経営計画「VISION2016」を策定し、本年度スタートしました。また、本計画に示す経営目標を達成するための推進体制を構築し、活動しております。

全社員が心をつにして本計画に取り組み、強固な経営基盤を構築し、PC建設業界のリーディングカンパニーとして、真に社会に信頼され、必要とされる企業を目指してまいります。

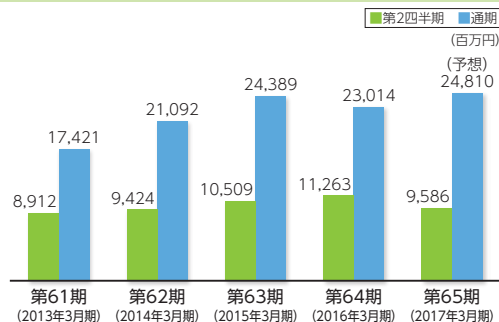
皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

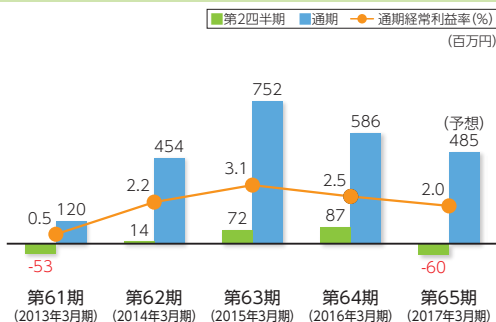
受注高



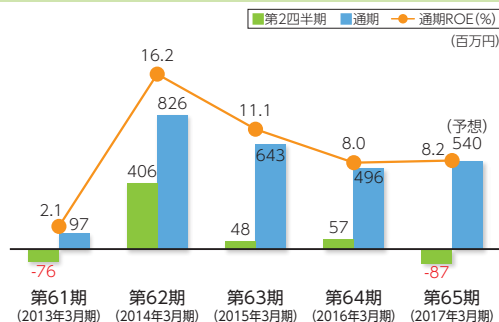
売上高



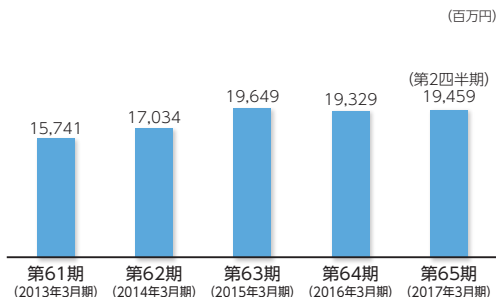
経常利益・経常利益率



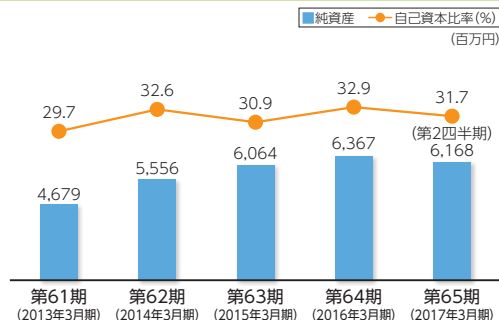
親会社株主に帰属する当期純利益・自己資本利益率(ROE)



総資産



純資産・自己資本比率



セグメント情報

土木事業

受注高

5,937百万円



前年同四半期比 27.3%減

売上高

6,829百万円



前年同四半期比 0.9%減

セグメント利益
(売上総利益)

676百万円



前年同四半期比 2.9%減

売上構成比

71.2%

土木事業は、多様化する総合評価落札方式への徹底した対応の強化や連結子会社の主力事業であるPCマクラギ事業に対する営業強化に努めました。売上高及び利益につきましては、高速道路会社発注工事において、他社の事故により工事一時中止指示を受けたこと、前年度末に受注した工事の着工が遅れるなどの影響を受けました。

この結果、受注高は5,937百万円（前年同四半期比27.3%減）、売上高は6,829百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は676百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

土木事業の紹介

佐保川橋（大阪府茨木市）

西日本高速道路 関西支社

PRC 5径間連続ラーメン波型鋼板ウェブ箱桁橋

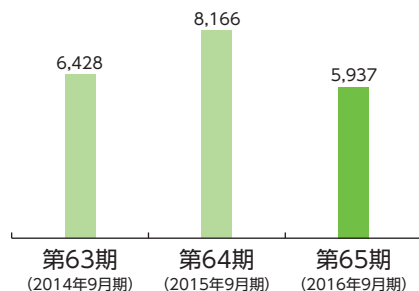
新名神高速道路は、名古屋市を起点として、三重、滋賀、京都、大阪を結び神戸市に至る延長約174kmの高速道路です。本工事は高槻第一JCT～神戸JCT区間のうち、茨木IC・PAを越え、箕面トンネル東に接続する高架橋です。

佐保川橋は、最大62mの高橋脚上で張出施工を行う、PRC 5径間連続ラーメン波型鋼板ウェブ箱桁橋です。現在、2017年3月完成を目指して鋭意施工中です。



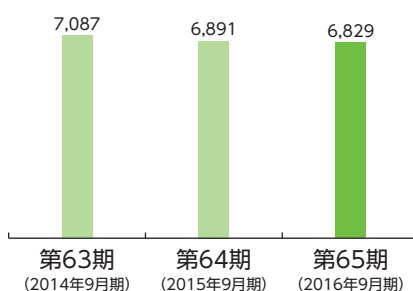
受注高

(単位：百万円)



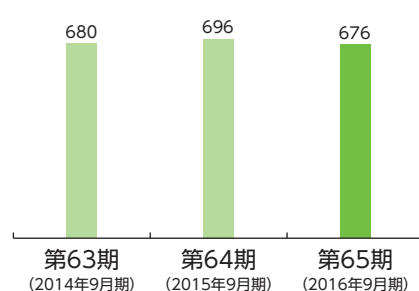
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



セグメント情報

建築事業

受注高

4,123百万円



前年同四半期比

6.6%増

売上高

2,636百万円



前年同四半期比

38.0%減

セグメント利益
(売上総利益)

458百万円



前年同四半期比

21.4%減

売上構成比

27.5%

建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や住宅分野での耐震補強事業の営業強化に努めました。売上高及び利益につきましては、マンションの着工の遅れに伴いFR板の製作に遅れが生じるなどの影響を受けました。

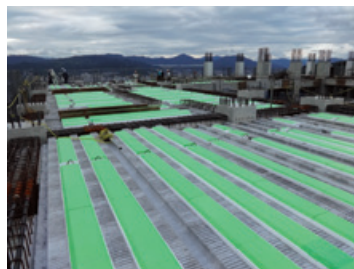
この結果、受注高は4,123百万円（前年同四半期比6.6%増）、売上高は2,636百万円（前年同四半期比38.0%減）、セグメント利益は458百万円（前年同四半期比21.4%減）となりました。

建築事業の紹介

品質と経済性に優れた建築製品を生み出す

主要都市部の都市再生再開発事業の超高層マンションに採用されている当社開発のプレストレスト・コンクリート床板（FR板）は堅調に顧客を確保し、施工実績を増やしています。

PcaPc事業は、研究施設、Pca壁式住宅、店舗・倉庫等の施工実績を増やしています。今後も営業強化を図り、受注拡大を目指しています。



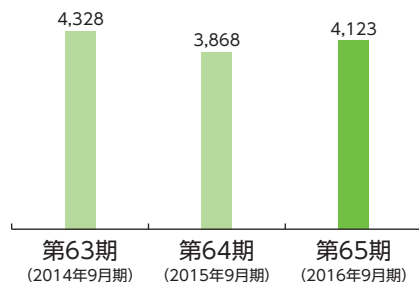
FR板敷設状況



本庄西M計画（大阪市）

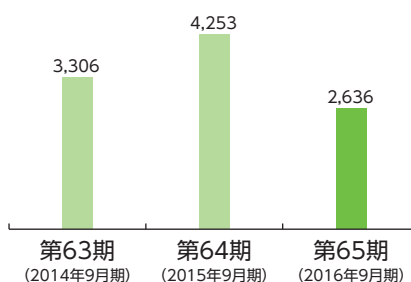
受注高

(単位：百万円)



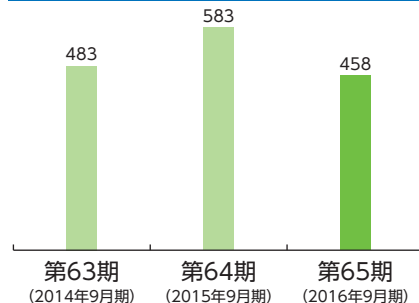
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



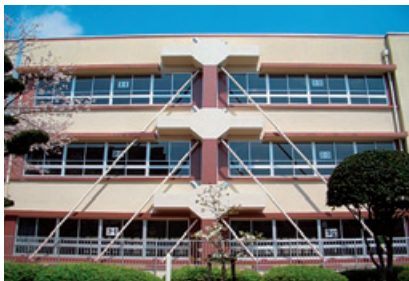
建築分野での「住宅向け耐震補強事業」の拡大

耐震補強事業の紹介

耐震性能と好環境・景観性を高次元で実現

学校などの公共施設を主要市場としてきた当社の耐震補強工法は、改良を加えながら全国での受注を伸ばしてきました。現在は、学校の耐震化率が90%を超えてきたことを踏まえ、今後大きな市場として期待される集合住宅分野への採用拡大を目指しております。

集合住宅分野の耐震補強工事では、入居者の住環境に対して細心の配慮と緻密な施工性能が求められることから、パラレル構法の長所を更に伸ばしたスマイルパラレル工法を新たに開発し、都市型集合住宅に採用されており、高い評価を受けています。



パラレル構法



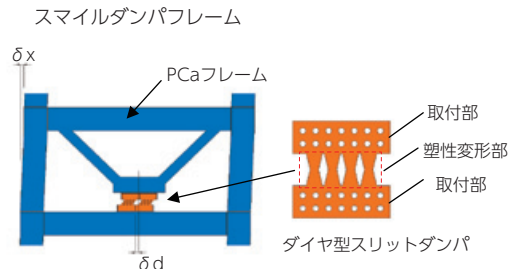
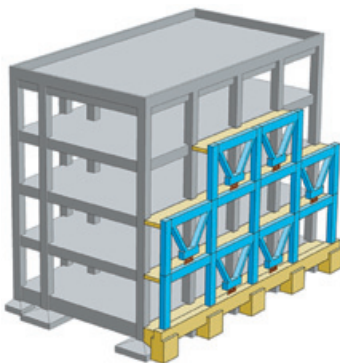
スマイルパラレル工法



●スマイルダンパフレームの開発

高層建築物の耐震補強への適用を目指し、復元力特性とエネルギー吸収能力を併せ持つPCaフレーム内にダイヤ型スリットダンパを配置した制震補強工法「スマイルダンパフレーム」を開発し、構造性能評価を取得しました。

スマイルダンパフレームの開発により、従来補強が困難だった建物も対応可能となりました。



※スマイルダンパフレームは、地震時における既存建物の損傷を極力抑えることができ、これまでに比べて補強構面数を30～50%減じることができます。

トピックス

オンリーワンの技術で社会資本づくりに貢献

表彰工事等の紹介

当社施工橋梁が発注機関から表彰を受けました。これからも「安全と安心」を企業ブランドとして確立し、優れた技術と豊かな経験をもとに社会資本づくりに貢献してまいります。

朝倉第3高架橋

表彰名（表彰者）：優良工事表彰（国土交通省 四国地方整備局長）



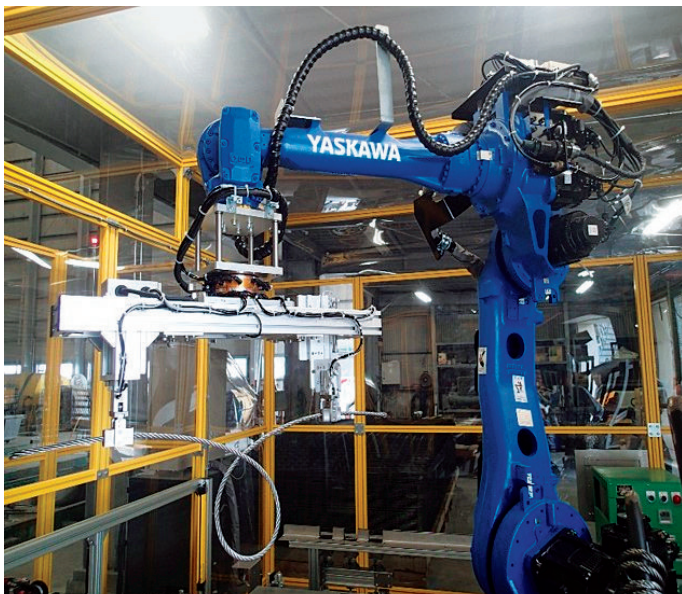
巨瀬川灰塚橋

表彰名（表彰者）：優良工事表彰（国土交通省 九州地方整備局長）



生産性向上と品質向上への取組み ～省力化技術の導入～

現在、建設業界では生産性の向上を目指し、機械化・情報化施工の導入が進められています。当社では、工場において、生産性向上と品質向上を図るため、建築の主力商品であるFR板の製造において各種の自動化を進めており、最近では、ワイヤー加工ロボットを導入いたしました。工場製品の製造以外にも、橋梁点検用ロボットの開発も進めており、今後、各所で省力化技術の導入を進めてまいります。



ワイヤー加工ロボット



IM



スリップフォーマー

財務諸表

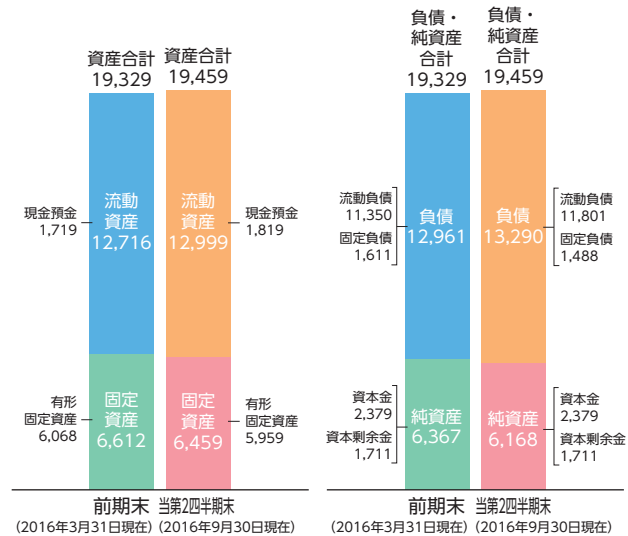
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期（累計） (2016年4月 1日から 2016年9月30日まで)	前第2四半期（累計） (2015年4月 1日から 2015年9月30日まで)	増減率（％）
売上高	9,586	11,263	△ 14.9
売上原価	8,395	9,917	△ 15.3
売上総利益	1,190	1,345	△ 11.5
販売費及び一般管理費	1,234	1,244	△ 0.8
営業利益又は営業損失（△）	△ 44	101	－
経常利益又は経常損失（△）	△ 60	87	－
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△ 87	57	－

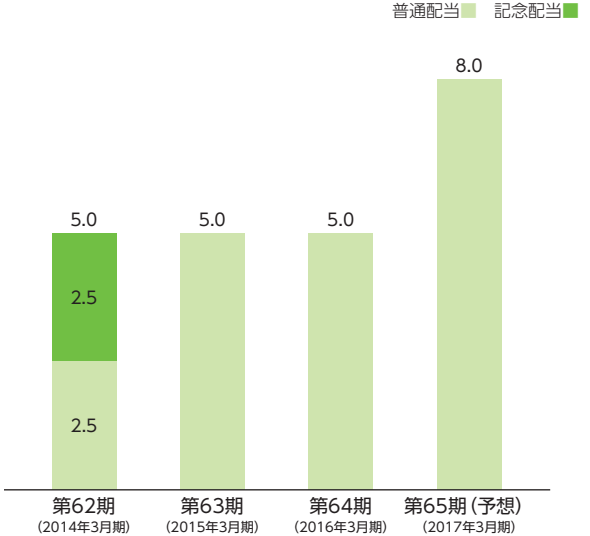
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



配当金の推移

(単位：円)



第62期期末配当は、60周年記念配当2円50銭を含んでおります。

会社概要 (2016年9月30日現在)

会社の概況

商号	株式会社 富士ピー・エス (英訳名 FUJI P.S CORPORATION)
設立	昭和29年3月19日
資本金	23億7,927万円
従業員数	387名 ※2016年9月30日現在
事業内容	特定建設業（土木工事、建築工事） プレストレスト・コンクリート技術を用いた土木・ 建築事業の請負、企画、設計、施工監理並びに PC製品の設計、製造、販売
	1. 土木事業 橋梁（道路・鉄道橋）工事、PCタンク工事、耐震補強 工事、メンテナンス工事など
	2. 建築事業 FC・FR板の製作・敷設指導、耐震補強工事、PcaPc建 築工事、PCリング及びPC緊張工事
	3. その他事業 PC軌道マクラギ、PC矢板、PC梁・柱などの製造、販売

役員

代表取締役社長	菅野 昇 孝	専務執行役員	桑原 安 男
代表取締役執行役員副社長	内野 寛	常務執行役員	白石 博 昭
取締役執行役員副社長	藤本 良 雄	上席執行役員	梅林 洋 彦
取締役専務執行役員	田中 恭 哉	上席執行役員	池田 秀 雄
取締役専務執行役員	堤 忠 彦	執行役員	深谷 浩 史
取締役	佐々木 有 三	執行役員	上野 貴 司
取締役	庄崎 秀 昭	執行役員	内野 英 宏
取締役	中野 幸 正	執行役員	油田 康 生
取締役	新関 輝 夫	執行役員	船越 光 晴
常勤監査役	善福 勉	執行役員	西山 吉 秀
常勤監査役	江里口 俊 郎		
監査役	田中 耕 二		
相談役	長尾 徳 博		

(注) 1. 佐々木有三、庄崎秀昭、中野幸正、新関輝夫の4氏は、社外取締役であります。
2. 善福勉、田中耕二の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役庄崎秀昭、新関輝夫の両氏は東京証券取引所、福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

主要事業所

本店	福岡市中央区薬院一丁目13番8号 九電不動産ビル 〒810-0022 TEL092(721)3471(代)
支店	九州支店、広島支店、関西支店、名古屋支店、 関東支店、東北支店
工場	九州小竹工場、三重工場、滋賀工場、関東工場、 いわき工場、東北工場
営業所	全国19カ所
連結子会社	株式会社 シーピーケー (PCマクラギの製造、販売) 本社：大阪市淀川区西中島七丁目16番76号 滋賀工場：滋賀県東近江市五個荘和田町123番地

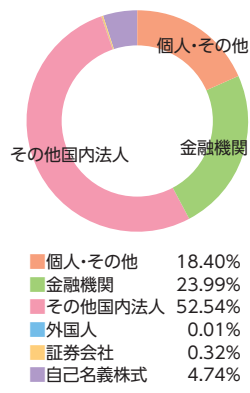
株式概要 (2016年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	53,000,000株
発行済株式の総数	18,602,244株
株主数	715名

株主名	持株数	持株比率
太平洋セメント株式会社	3,721千株	20.99%
住友電気工業株式会社	2,383千株	13.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（退職給付信託口・九州電力株式会社口）	2,309千株	13.03%
西日本鉄道株式会社	773千株	4.36%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託神鋼鋼線工業口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	722千株	4.07%
富士ピー・エス福岡取引先持株会	499千株	2.81%
株式会社三井住友銀行	477千株	2.69%
日鉄住金SGワイヤ株式会社	423千株	2.38%
富士ピー・エス大阪取引先持株会	367千株	2.07%
株式会社福岡銀行	361千株	2.03%

(注) 1. 当社は、自己株式を881千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
証券会員制法人福岡証券取引所

公告方法 当社のホームページに掲載(電子公告)し、止むを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞にて公告する。
(<http://www.fujips.co.jp/kohkoku/index.html>)

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

(ご注意とお願い)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- ①単元未満株式(1,000株未満)及び②特別口座(三井住友信託銀行)

で管理されている株式は市場で売却することができません。株主様の利便性を図るため次の事項をお勧めいたします。

- ①単元未満株式につきましては、買取・買増制度をご利用ください。
- ②特別口座(三井住友信託銀行)で管理されている株式につきましては、証券会社等で管理される口座管理機関への変更をお勧めいたします。
- ④単元未満株式の買取・買増につきましては、当社は手数料を無料としておりますので、株主様におかれましては、ご利用をお願い申し上げます。
- ⑤ご不明な点がありましたら、上記株主名簿管理人または当社総務部(092-721-3471)にお問い合わせください。

人にあたたかい空間づくりをめざして



株式会社富士ピー・エス

URL <http://www.fujips.co.jp/>

